

第 20 回公開講座レポート

6月3日土曜日、南多摩病院公開講座が開催されました。おかげさまで20回を迎え、地域の方々にとっても馴染みのあるイベントになってきたのではないかと思います。今回もたくさんの方にご参加いただき、ありがとうございました。

ご都合が合わず残念ながらご参加いただけなかった方へ、簡単ではございますが当日の様子をご報告させていただきます。

最初のテーマは「最近増えてる？食道がん」。南多摩病院 金森外科部長の講義から始まりました。近年、テレビや雑誌など身近に『食道がん』という言葉を目にする機会が多くなったと感じられている方もいらっしゃると思います。食道がんは男性が女性より5倍も罹患しやすい病気です。喫煙や飲酒の多い方がなりやすい傾向にあります。また、飲酒量にかかわらず顔がすぐ赤くなる方に多いようです。症状が見つかる頃にはかなり癌が進行しているケースが多く、症状が無いうちに検査を受けることが重要と話されていました。

症状として、食べ物が喉に詰まるような感覚や食道がしみる、咳が出る、声のかすれ等があげられます。手術内容や術後のケアなど、検査から手術、退院までの一貫した内容で食道がんの治療法や注意点についてわかりやすくお話いただきました。



二つ目のテーマは「これからの在宅医療について」でした。永生会訪問診療担当の中村哲生統括顧問の講義です。永生会では、在宅診療部門にも力を入れており、病院へ通うことが難しい患者様の助けになれるよう様々なサービスと展開していく予定です。

在宅医療の仕組みや保険制度、往診と訪問診療の違い、定期訪問の重要性、社会保障制度について、単体治療ではなく連携の大事さ、在宅医療の対象と受診時に必要なものなど、多方面にわたって在宅医療の今と今後をお話いただきました。

質問も積極的に出ており、健康に向けての医療情報に地域の皆様も関心があることが伺えました。



次回の公開講座は8月19日(土)の14時から、南多摩病院8Fで行います。テーマは「ピロリ菌」とその検査についてです。

南多摩病院は、これからも定期的に市民公開講座を開催していきます。色々なテーマでの講演で、足を運んで下さる方にとって有益な情報を発信し続けてまいりますので、是非ご参加ください。